

アドリア海で“Beneteau Rally”に参加してきました。

Summertime 牧 信哉

今年は昨年のカナダ sailing に続いて、秋休みも兼ねて、クロアチア、アドリア海で“Beneteau Rally”に参加したので報告します。

10.2 羽田～フランクフルト；隣の席は Luft Hansa の CA（スチュワーデス）、ちょっと Happy！

バルセロナ出身、現在ドイツで働いている人で、カタルーニャ地方の独立などについて話す。彼女自身スペイン語、カタルーニャ語、ドイツ語、英語を話す。ヨーロッパでは複数の言葉しゃべるのが普通とのこと。私も子供の時から、そういう環境にいれば苦労しなかったのに...と思いました。

10.3 フランクフルト空港で今度の sailing で1週間一緒に船に乗る女性2人と合流してから2時間弱でクロアチア2番目の都市、Split 空港着。東京～福岡の感じで、ヨーロッパの狭さを感じます。Taxi で船を借りる予定の Trogir 着、Trogir は、国際遺産になった運河に囲まれた小さな町できれいな所でしたが、観光客（特に中国人）の多さにびっくり。昼は暇だったので、海辺の Café で Beer 飲んで人間 watching、大道芸人、それまがいの人、色んな人が通ります。



10.4 夕方まで暇だったので、バスでクロアチア第2の都市である Split まで遊びに行く（所要時間約1時間、18kuna=500円位）。Split は世界史で習った（そして、忘れた）かもしれませんが、ローマ帝国が最も栄えた時の帝王デオクレティアヌスが生まれた場所で、その城が国際遺産になっていてここも人が多い。すぐに人混みを避けてアドリア海を見にいたり、人が少ない Maritime Museum（見に来ている人、私を含めて3名）で時間をつぶす。説明が全てクロアチア語で書いてあるので雰囲気だけつかむ。飛行艇の模型があるのを発見。ここは宮崎駿監督の“紅の豚”の舞台なのです。適当に時間を潰して、再度 Trogir に戻って、1600 から船に荷物積み込み開始、今回は ISPA（International Sail and Power association）Instructor Bob さん（カナダ在住、日本人）と女性2名、男性、私を含めて3人の計6名で1週間の船上生活です。



10.5 朝 9 時頃から meeting, クロアチア、スロベニア、イタリア、日本（私達です）から計 6 艇参加、Bob さんは 6 回目の参加と言う事でスタッフとも冗談言って寛いだ雰囲気スタート。

第 1 レグ Trogir ~ Vis ここで、レースではなくラリーと言うのか？納得。スタート、ゴールの場所、時刻（到着は指定された 15 分の間）決まっていて、できるだけエンジンを使わずにゴールするもので、使っても減点されるだけで問題ありません。そのため、スタート前にエンジンのアワーマーターの check（申告のみ、テキトーです）して 1020 スタート。始まっても、音楽流して、イタリアのお姐さんが水着で踊ったり、緊迫感ありません。主催者側も適当で、ゴールの 15 分間だけそこにいれば良いので、それ迄の 5~6 時間は自分たちも遊びます。しかし、ゴールの時間迄 1 時間位になったら、風、潮、ゴールまでの距離を考えて、最小限の有効なエンジンの使用を考えます。一日目の到着地 Vis 島の Vis に到着。アドリア海は地中海の一部ですので、干満の差が 30cm 位しかありません。そこで docking は地中海方式、スターンで 2 本シートを用意しておいて、back で岸に近づき、シートを岸のおじさんに渡し、すると岸でおじさんがアンカーについたシートを上引き上げてくれるので、これをボートフックなりでひっかけ、出来るだけ早くバウに持って行って船が横に流れない様に固定、風が強い時は特に早くしっかり止めないといけません。順位は 2 位（6 艇中）、夜は Beneteau 主催の宴会、1 日目は魚料理でした。隣の席のスロベニア group と談笑。このチームが結構強く全てのレグで 1 位でした。ヨット好きのおじさん、おばさんグループでスロベニアから車で 5 時間かけて来たそうです。スロベニアにも海あるけど、海岸線が狭いのであそぶにはクロアチアが良いと言う事でした。宴会は夜更けまで続いたのでした。外人はタフです。



10.6 第2レグ Vis (Vis 島) ~ Milna (Brac 島) 朝食のあと、海辺の café で espresso など飲んで休み気分満喫して、Rally 1000 スタート。この時、2 回到着時刻を聞くも後で教える、と知らないまま、まあ良いかとスタート、最初 15knot 位の良い風吹くも、途中でベタになり、到着はだいたい 16:30~45 かな？とエンジン使いながら Milna のそばまで近づいておいて、他の船にあわせて goal。後で聞くと 16:15~30 だったとの事。ちゃんと教えてくれよ！と柔らかに抗議。そんな目くじら立てる Rally でないので、大人の対応です。それでも 3 位、みんな要するに、遊びに来てるんですよ。夜は、迎えのバスで 30 分位ドライブして Brac 島の中央位の山間部の隠れ家的レストランで食事。色んな種類のグラッパが appetizer で、cheese 好きにはたまらない色んな種類の cheese、main dish は子豚の丸焼き！これ最高に美味しかったです。ここでも盛り上がってバスで港へ、明日に備えて寝る。



10.7 第3レグ Milna ~ Split 今日がレースとしては最後の日。Split まで近いのでスタート 1300 と言う事で、午前中は Brac 島の民族博物館へ。紀元前から人が住んでいたなどと言うあたりまでは真面目に聞いていたが、あとは適当にスルーして自然を楽しむ。憧れのアドリア海ですから満喫しなくっちゃ。1300 スタート~1530-45 goal 予定。風弱く、エンジン多用、スロベニア艇は弱い puff を見つけて sail で進んで行く、Bob さんも上手い！と褒めておりました。Split のヨットハーバーに着岸。夜はアドリア海の夕日を見ながら、レストランで表彰式+レセプション。1 位はダントツのスロベニア艇、我々は 3 位でした。Beneteau マークのカップと wine をもらい、夜も更けて行くのでした。



10.8 Split ~ Hvar 今日から 10.11 までは、私達だけで fun cruise + ISPA の練習です。朝、お友達になったスロベニア艇に送られ出港、Hvar を目指す。昼ご飯はアドリア海での尾道ラーメン+ ソーキそば。

尾道在住で沖縄永住を目指すメンバーがおり、この献立でした。美味しかった。沖には帆船（なんとか？）**princess** が泊っていてちょっと撮影。**Hvar** は **Split** を守る要塞として栄えた町で人気の観光地、日本人観光客も多い。船を止める場所がなく最後の **mooring buoy** を **get!** **Tender** での上陸でした。早速、山の上の城を目指す。急な坂が 40 分位続き結構きつい（車でも行ける事が後で判明、**IPSA** では **walking** も大事なのです）。汗かいて登っただけに、港、周辺の海域の見晴らしは最高でした。夕食（カレーライスというのがあったので、2000 円位とちょっと高かったが食べてみると、味は?#!。久しぶりにまずい物食べました。）、**air** のちょっと抜けたテンダーで、先発隊が船に戻り **air** を入れ直し無事帰艇しました。



10.9 Hvar ~ Komiza (Vis) 今日は“紅の豚”の秘密基地のモデルになった **Vis** 島の西側の入江(名前不明)見て、**Vis** 島のもう一つの港町である **Komiza** 目指します。風は 20~25knot 位の風で快調に **closed** → **abeam** で帆走。3 時間くらいで、前述の入江に到着。風、波強めで接近するのは危険と判断し、3 人がテンダー（船外機なし）で漕いで行く。私達 3 人船で待っていましたが、風、波強く、周囲は切り立った崖なので **Bob** さんがラット担当になりました。帰って来た 3 人は素晴らしかった！の連発で、ちょっと羨ましかったです。**Komiza** に入港して、**classical** な **gaff rig** の観光船？の横に止める。間もなく、ドイツの若者の **diver** 乗せたヨットが入港。下着（もちろん女物）がこれでもか！と言う位干してあり、我々は目のやり場にこまったけど外人は気にしないですね。ヨットに乗っていると足腰弱くなるので、丘の上の教会目指して散歩。目の前にアドリア海が見え、滞在もあと 2 日になり、しっかり遊ばんといかん！と再認識。港の **café** で **Beer** 飲み、地元ビールの名前入りグラスを（ちょっとおかまっぽい）店員さんにこたわって **get**。こういうのが思い出に良いんですね。この日が誕生日のメンバー（女性）おり、ささやかなプレゼントを港周辺の店で買って、夜はプチ宴会して夜も更けて行くのでした。 *左端の写真が、‘紅の豚’の秘密基地、内側からの眺めです。



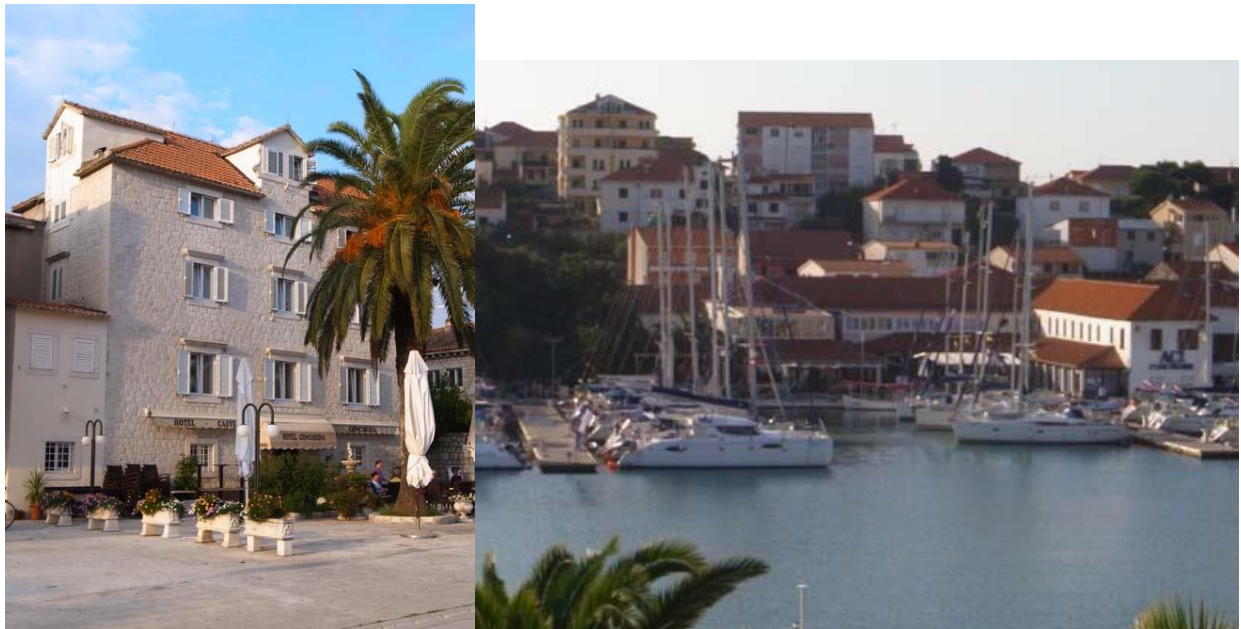
10.10 Komiza ~ Solta 0905 出港、洞窟の中が光線の関係で青く見える“青の洞窟”に行くも風、波強めで近づくのは危険と判断して外観だけ見学。**Sailing** 三昧の予定が、昼から風弱くなり機帆走で **Solta** 目指す。**Solta** には、軽油の給油所があり、走っているヨットの 8~9 割がレンタルなので 10.11(土)になると車と同じ満タン返し、金曜日の午後は給油所が大忙しになります。私達の船も着いた時には先客 4 艇おり、

ひたすら待つ。Bob さん、engine hour meter とおおよその燃費 3L/hour からだいたい 75L と概算、給油するときの音で判断して量を加減します。Solta は、福岡でいう能古島みたいな所で、クロアチア第 2 の都市である Split の bed town、夕方になると通勤客が沢山降りて来ます。船を止めた後、Beer 飲んで散策、海越しに Split の町が見えて良い所です。



10.11 Solta ~ Trogir 0900 迄に船返却と言う事で、0735 出港、無事 0902 Trogir 着。船はその日の午後には次の顧客が乗り込むので、慌ただしく荷物をまとめて下船。Harbor の café で、反省会（コーヒーのんで無駄話するだけです）して、ひとまず解散。着いた時と同じホテルに向かう。おばちゃん（といっても私より若い）から、今日は一番良い部屋用意してるよ、と最上階（5 階、エレベーターなし）の harbor view の部屋（物価日本よりちょっと安くて 6000 円位）に落ち着き、皆で Split 観光+お土産買ってクロアチア最後の夜楽しんで帰って来ました。

*写真ホテルとそこからの眺めです。



憧れだったアドリア海 sailing、天気、メンバーにも恵まれ楽しく、有意義な 1 週間を過ごすことができました。また 1 年間真面目に働いて、来年もどこかの海で遊びたいと思っています。

*You tube 2014 クロアチア ベネトウラーリー&クルーズ にも画像あります。